

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【公開番号】特開2016-39336(P2016-39336A)

【公開日】平成28年3月22日(2016.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-017

【出願番号】特願2014-163369(P2014-163369)

【国際特許分類】

H 01 L	51/50	(2006.01)
B 41 J	2/447	(2006.01)
H 05 B	33/14	(2006.01)
H 05 B	33/08	(2006.01)
G 03 G	15/04	(2006.01)
B 41 J	2/45	(2006.01)

【F I】

H 05 B	33/14	A
B 41 J	2/447	1 0 1 D
H 05 B	33/14	Z
H 05 B	33/08	
G 03 G	15/04	
B 41 J	2/447	1 0 1 R
B 41 J	2/45	

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月19日(2017.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

長尺状の基板上に、前記基板の長手方向に沿って列状に並べて配置され、それぞれが発光素子を含む複数の画素と、

前記複数の画素のそれぞれに接続された複数の画素回路と、

前記複数の画素回路に接続された少なくとも1つの制御信号線と、

前記制御信号線に接続され、前記制御信号線を介して前記複数の画素回路に制御信号を出力する画素ブロック選択回路と、を有する画素ブロックを有し、

前記複数の画素回路は、複数のグループに分割されており、

前記制御信号線は、前記長手方向に沿って配置され、前記複数の画素回路に接続された第1の配線部と、前記画素ブロック選択回路から前記複数のグループの間の領域に渡って配置され、前記画素ブロック選択回路に接続された第2の配線部とを有し、前記第1の配線部と前記第2の配線部とは、前記複数のグループの間の前記領域において接続されている

ことを特徴とする発光装置。

【請求項2】

複数の前記画素ブロックを有し、前記画素ブロック毎に順にデータが書き込まれる

ことを特徴とする請求項1記載の発光装置。

【請求項3】

前記長手方向において、隣り合う前記画素回路の間の距離は、隣り合う前記画素の間の距離よりも小さい

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の発光装置。

【請求項 4】

前記複数のグループの間の前記領域の幅は、前記複数のグループの各グループにおける前記画素回路の間隔よりも広い

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の発光装置。

【請求項 5】

前記画素ブロック選択回路は、前記制御信号線を介して前記複数の画素回路に、データを書き込む期間を制御する信号又は発光期間を制御する信号を出力する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の発光装置。

【請求項 6】

感光体と、前記感光体を露光する露光部と、前記感光体を帯電する帯電部と、前記感光体に現像剤を付与する現像部と、を有する画像形成装置であって、

前記露光部は、請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の発光装置を有し、

前記複数の画素は、前記感光体の長軸方向に沿って配置されている

ことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明の一観点によれば、長尺状の基板上に、前記基板の長手方向に沿って列状に並べて配置され、それぞれが発光素子を含む複数の画素と、前記複数の画素のそれぞれに接続された複数の画素回路と、前記複数の画素回路に接続された少なくとも 1 つの制御信号線と、前記制御信号線に接続され、前記制御信号線を介して前記複数の画素回路に制御信号を出力する画素ブロック選択回路と、を有する画素ブロックを有し、前記複数の画素回路は、複数のグループに分割されており、前記制御信号線は、前記長手方向に沿って配置され、前記複数の画素回路に接続された第 1 の配線部と、前記画素ブロック選択回路から前記複数のグループの間の領域に渡って配置され、前記画素ブロック選択回路に接続された第 2 の配線部とを有し、前記第 1 の配線部と前記第 2 の配線部とは、前記複数のグループの間の前記領域において接続されていることを特徴とする発光装置が提供される。